

★つどい・しいあい・つながろう★ 第14回 市民活動センターまつり

3月3日、あいにくのお天気となった第14回センターまつりでしたが、来場者は約700名、子ども達もたくさん来てくれました。遊びコーナーの充実や、団体との連携をさらに図れる工夫など反省点をふまえて、実行委員会でも検討していきます。次回もさらに盛り上がるまつりとなりますよう、みなさまのご協力をお願いします。



記事協力 くじま歴史研究会 矢口 信一

佐伯・今昔物語 玖島・泉水峠

佐伯地域の虫所山から廿日市地域の可愛を結ぶ国道二九四号虫道廿日市線と呼ばれる道路があります。この路線の途中、玖島・橋原から原・川末へ抜ける境界付近に峠越えがあり、このあたりを泉水峠と呼んでいます。急峻な坂なので、自動車（四輪）は通り抜けできません。

この道は、近世には（石州）匹見往還という重要な道でした。石見方面などから厳島参詣や廿日の市などに行くために、この峠を利用していました。明治時代には、日清・日露の役などに召集され、広島の第五師団に入営する徴兵適齢者の人などが行き来していました。

また、広島県出身の作家 大田洋子は九歳の時から、玖島で、六年間過ごしました。その間、義父の蔵書を読みふけり、文学に親しむようになり、自宅から泉水峠あたりを見ながら、「早く広島に出たい」との思いをはせていたようです。彼女の代表作「屍の街」の中にも、泉水峠を背負子で背にした老人や若者が酢や醤油などを買いに行く様子が描かれています。また、終戦後、被爆した人々も広島から歩いて泉水峠を越え、玖島へ帰ってきたそうです。

この泉水峠を江戸時代末期に玖島に住む豪農 八田新七が改修工事をした記録が残っています。明治末期から大正にかけ、トンネルを掘る工事が行われました。資金難にあい中止になりましたが、今も峠の原側にトンネル工事の痕跡があります。その後も何度か改修工事が計画されましたが、実現することはありませんでした。しかし、近年、玖島と原を結ぶ区間の改修が必要だという機運が高まり、泉水峠林道（仮称）ということで改修工事の計画が動き始めています。

廿日市市民活動センター 運営協議会 市山勇事務局長のご冥福をお祈り申し上げます

かねてより入院加療中でした市山勇事務局長が昨年12月30日、急逝されました。約7年間、活動センターの運営にご尽力いただきました。慎んでご冥福をお祈り申し上げます。



お別れの言葉

感謝とありがとうとお疲れさま

市山さん！！

この3つの言葉しか思い浮かばないよ。市民活動センターに勤め始めて、ちょうど7年。あっという間の7年間。一生懸命、一緒に支えあってきた仲間たちが、悲しみのどん底にいます。でも、前を向いて、みんなで頑張っていきます。天国で見守ってくださいね。

運営協議会会長 後藤 香代子

****お問い合わせ先**** 廿日市市民活動センター
廿日市市住吉2-2-16 ☎0829-32-3741 fax0829-32-3742
HPアドレス <http://www.hatnet.jp/>
f <https://www.facebook.com/shiminkatsudo.hatsukaichi>

****ネットワーク現在の状況****
(平成31年3月末現在)
登録団体 **157** 団体

— 市民活動情報紙 —

さくら de ファミリー

廿日市市民活動センター
平成31年春号
Vol. 47

登録団体代表者研修会の報告

1月26日、登録団体代表者研修会を行いました。(株)イズミ代表取締役社長 山西泰明氏による「4つの夢の実現」という演題に沿って、イズミの成長戦略として、地域密着型店舗を目指して、お客様・地域・社員・テナントが一丸となって夢を実現していこう。この地域にしかないもの、この地域にないものをお客様に提案していこう。そして、災害時にいち早く地域の皆様のお役に立てるように行動していこうという経営理念についてお話いただきました。

約90名(70団体)の参加があり、市民活動やセンターについてより深い理解が得られた研修会となりました。

研修会は毎年年度末に行いますので、ぜひご参加ください。



山西 泰明社長



提案型連携事業の募集について

★連携事業実施の目的

市民活動センターに集う市民活動団体同士が連携し、事業や活動を通して、お互いに支え合うことで他の団体に興味を持ち、理解することによりそれぞれの得意分野を活かした、よりよい活動が展開されることを目的として実施します。

募集期間：平成31年4月2日(火)～5月31日(金)
応募方法：事業提案書を作成し、市民活動センター受付に提出(提案書は受付にあります)
審査・選考：平成31年6月13日(木)19時～ 運営協議会にてプレゼンテーション
場所/市民活動センター 1階会議室
★その他詳しい内容につきましては、配布した応募の手引き、またはホームページをご覧ください。お問い合わせは、センター受付まで

提案型連携事業の報告

シンボルツリー植樹

荒れた山になる前は地域の人々のお花見の場所となっていた花見山に、シンボルツリーとなる大山桜(大きな花びらの山桜です!)を3月2日に植樹しました。新しい時代に向かって、子供たちも山桜も大きくなあれ!



お知らせコーナー

新年度登録更新書類の提出〆切が3月末に迫っております。登録団体の皆様から書類受領後、運営協議会にて再度審議に入りますので、新年度の施設利用の申請・ご予約は、なるべく新年度の登録更新を済ませていただいております。

掲載希望の方はセンター受付まで!
次回48号は6月末発行予定です。

落とし物・お忘れ物展示

市民活動センターでは、下記日程にて、今年度、センター内にてお届けのあった、落とし物・お忘れ物を展示いたしております。尚、展示期間終了後、1ヶ月経過したものにつきましては、処分させていただきますのでご了承ください。

日程：3月19日(火)～4月9日(火)
場所：市民活動センター1階 北口玄関

展示物にお心当たりのものがございましたら、事務局受付までお声かけください。

GW 休館日
4/29(月)～5/6(月)
ご利用の際はご注意ください!



やさしい日本語講座を開催しました！

3月12日（火）に外国人にもわかる！伝わる！はじめての「やさしい日本語」講座を地御前市民センターで開催しました。初めての開催でしたが、40名もの受講者がいて大盛況でした。講義のポイントをご紹介します。

外国人市民は日本語をどのくらい理解できる？

広島市の調査では、外国人市民で日本語をほとんど使えない人は、4.1%しかいません。ですが、漢字が並ぶ文章や難しい表現の言葉を使っている場合は外国人市民には伝わらないことが多いです。そこで「やさしい日本語」を使うことで、円滑な意思疎通ができると思います。

やさしい日本語とは？

やさしい日本語とは、「普通の日本語より簡単で、外国人に分かりやすいように配慮した日本語」のことです。例えば、「高台に避難してください」という言葉では外国人にとっては難しくて意図が伝わりません。でも「高いところに逃げて」というやさしい日本語を使うことで、相手にきちんと情報が伝わるのです。

やさしい日本語のコツは？

やさしい日本語には言いかえるコツがあります！

1. 「です・ます」で話す
2. 言葉を柔軟に言い換える
3. できるだけ具体例を出す
4. 一文を短く！（原則24文字以内）
5. 言葉だけでなく、情報もやさしくする。

やさしくしてみる

×「貴重品は必ずご自身で管理してください。」
○「大事なものは、自分でもってください。たとえば、お財布、携帯電話、スマートフォンなどです。」

「貴重品」がどんなものか想像できないことがあるので、具体例を出してあげると良いです。

×「お茶をふるまっています。」
○「お茶を飲むことができます。0円です。」
外国人は費用についてのルールを知らないことが多いので、その情報を事前に伝えると安心してサービスを受けることができます。



講師
（公財）ひろしま国際センター
当銘 類さん

やさしい日本語のメリットは？

- ・どの国の人に対しても使える
- ・コツを知っていれば、すぐ誰にでも使える
- ・実は日本人にもやさしい

廿日市市に住んでいる外国人は、ベトナム人がもっとも多く、次が中国人です。そのため英語が分からない外国人も多くいます。やさしい日本語を使えば、多くの国の人と会話ができます。

やさしい日本語は「もしものとき」のため？

「やさしい日本語は災害のときに使うもの」というイメージを持つ方が多いようです。しかし、なかなか災害時のパタパタしたときに、急にやさしい日本語を使おうとしても難しいものです。普段からやさしい日本語を使ってみましょう！

なにより大切なことは

普段から「コミュニケーション」をしていくことがとても大切です。万能薬ではないけれど、コミュニケーションの1つのツールとして、やさしい日本語を活用してみてください。

当日の様子と参加者の感想



日ごろから分かりやすい言葉を使うことを意識したい。コツを周囲の人に教えていきたい。

小さい子どもや認知症の人と話す時にも役立てるかもしれない。

「市民活動センターおおの」がオープン！

平成30年11月にオープンした「市民活動センターおおの」を特集します！市民活動センターおおのは、新しくなった大野支所の3階にあります。今回は、その特徴をご紹介します！

特徴その1 壁がホワイトボード！

当センターの壁の一部はホワイトボードになっていて専用ペンを使うことで、文字を書くことができます！大きく使えるので、活発な意見交換ができると思います。打合せなどで活用してみてください！

ペンの貸出しは2階の大野支所地域づくりグループまでお声掛けください。



特徴その2 祝日も開館！

市民活動センターおおのは年末年始を除き、毎日開館しています！土日だけでなく、祝日も開館しているので、さまざまなタイミングでご利用いただけます！詳しい営業時間は以下のとおりです。

開館時間：9時から21時30分まで
休館日：年末・年始（12月29日から1月3日まで）
予約受付時間：平日の8時30分から17時15分まで

部屋名	301 研修室	302 研修室	303 研修室
面積	52.5㎡	58.1㎡	52.6㎡
定員	24名	30名	24名

壁3面がホワイトボード
移動壁を動かして一つの部屋にできます

	使用料		
	午前	午後	夜間
301研修室	240円	410円	370円
303研修室	270円	450円	410円

特徴その3 便利なミーティングゾーン

いつでも自由に使えるミーティングゾーンを活用してください。組み合わせで形が広がる台形型テーブルなので、さまざまな用途で利用できます。

※机、椅子を並べ替えた場合は、元に戻しておいてください



特徴その4 専用ロッカーとメールボックスが充実！

市民活動センターおおのでは、市民活動センターと同様に専用ロッカーとメールボックスを用意しています。ダイヤル式なので鍵の管理要らずで、とても便利です！

月額利用料は、専用ロッカーとメールボックスともに、100円/月です。

市民活動センターは、市民活動を応援しています！市民活動センターおおのについてのご質問は以下までご連絡ください。

問合せ先：大野支所地域づくりグループ (0829) 55-2000
協働推進課 (0829) 32-3810

情報部主催 フォトコンテスト 入選作品発表

今回も数々の力作
応募ありがとうございました！
景品提供は(株)やまだ屋です
毎年ご協力いただき感謝いたします

1位



「廿日市地区夏まつり」
内藤 規幸 氏
廿日市市まちづくり協議会

2位



「トランポリン」
田上 美由紀 氏
NPO法人
フリースクール木のねっこ

3位



「ふれあいスキー」
林田 隆幸 氏
青少年育成廿日市市民会議

4位



「ふれあいキャンプ」
林田 隆幸 氏
青少年育成廿日市市民会議